

## 2 学年 特別活動指導案

令和 4 年 1 月 13 日 (火) 5 校時 14:00~14:50  
 (那覇市立松島中) 学校 2 年 4 組 30 名  
 指導者 平安山英樹

### 1 学校で育てたい資質・能力

<p>(1) 学校教育全体を通して (学校教育計画 p16 より抜粋)                  (学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性等」)                  ○教科において、学ぶ知識及び技能をしっかりと習得する。また、教科と関連した社会的な出来事 (事象) についても、学んだ知識を踏まえ、さらに深める考える習慣や力を身に付ける。                  ○社会の変化に主体的に向き合い関わり合う観点から、習得した知識及び技能を積極的に活用し、様々な問題の解決を図ろうとする思考力・判断力・表現力等を身に付ける。                  ○常に目標に向かって取り組むことや社会的出来事に対して課題意識を持ち、主体的にその解決を図ろうとする態度を身に付けるとともに、より良い人生やより良い社会づくりに向かう力を身に付ける。</p> <p>(2) SDGs との関連項目                  ○「持続可能な開発目標」17 のゴールをあらゆる場面で考え、集団生活の形成者として、社会生活におけるルールやマナーについて日常生活や自己の在り方を主体的に改善しようと将来を描き、自分にふさわしい生き方や職業を主体的に考え、選択する。</p>
---

### 2 単元の概要

#### 年間指導計画 2 学年 1 2 月議題 学級活動 (3) 社会に生きる一員として

議題・題材	社会に生きる一員として (3) イ 題材: 「わたしからはじまる! SDGs」
内容のまとめ	第 2 学年 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現 イ 社会参加意識の醸成や勤労観・職業観の形成
単元の目標	○自主的、実践的な集団活動を通して身に付けてきたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、人間としての生き方について考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。
働かせる見方・考え方	○私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を、多面的・多角的に考察、構想し、自分の考えを発表すること。 ○自己の良さを生かし、他者と協働して目標達成を目指しながら主体的に行動する。

### 3 単元について

#### (1) 児童 (生徒) の実態

2 年 4 組は男女の仲が良く、学級全体も活気がある。1 学期の行事である校内陸上競技大会では学年総合 1 位となり、さらに学級の雰囲気も良くなった。普段の授業や学習に対する意欲も高まってきており中学校全体の中でも模範となると意気込んでいる学級である。

2 年 4 組で本単元全体や本時に関するアンケートを実施した。「SDGs について関心がありますか? = ある 65%」「SDGs 指標①②に関して何の目標か答えてみよう。= 正解率①30%, ②39%」「SDGs 17 の目標の課題を解決するために自分から何か行動を起こそうと考えたことがありますか? = ある 77%」このアンケートの結果からも 4 組の生徒は SDGs に関する意識が高いが、漠然としたイメージや何をどうすれば良いのかがうまく表現できない生徒が多いと感じた。もともと学級全体で「無くそう食品ロス運動」を実践していて意識の高い集団の集まりである。学級の中には 1 学期の目標に「登校時に通学路のゴミ拾いを行う」ということを掲げ、自然と SDGs に関わる実践目標を書いている生徒もいる。このことから本時の授業を通して生徒たちの素朴な疑問や関心を引き出しながら更なる課題解決に向けた行動への意識付けや動機付け、そして実践活動に繋げていきたいと考えている。

#### (2) 題材設定の理由

特別活動はキャリア教育の要としての役割を担っている。これまでの活動を振り返るとともに、これからの学びや生き方を見直し、個人目標について意思決定をする場面でも曖昧な生徒が多い。育成すべき資質・能力の重要な視点である「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」から、「自己実現」のなりたい自分に向けて頑張る力に傾注し、将来を見通して、今の自分にできることを考え、良さや可能性を生かして実践しながら、よりよい自分づくりを目指す態度が育成されると考えた。「わたしからはじまる SDGs」を扱うことで、身近な地域にも目を向けさせ、生徒一人一人が「持続可能な社会とは」のイメージを膨らますことにより「集団や社会」に対して積極的に関わり、よりよいものにしていくという問題解決のためにできることを友人たちと考え、話し合い、解決策を模索させる学習を展開したい。そうすることで、持続可能な開発目標 (SDGs) について考え、実際に「わたしからはじまる SDGs」の行動に移させるためのきっかけ作りをしたい。今回「わたしにできること」を意思決定することにより、その先の将来に向けて希望や目標をもって生きようとする態度が育成されると考え、本題材を設定した。

この授業においては、グループによる意見交流の場を設け「自分たちにできることは何か?」を考えさせたい。この授業のまとめでは自分たちにできることを各グループで発表させてその意見を共有し、これからの自分がどう実践していくのかを考える機会にしたい。

4 2 学年の学級活動（3）の評価規準

将来の自己と学びを結びつけるために必要な知識・技能【知技】	自己の生活課題を改善するための思考・判断・表現【思判表】	主体的に人間としての生き方を選択しようとする態度【主体的態度】
○将来の社会的・職業的な自立と現在の学習とのつながりを理解し、自己の生活をよりよくするために個性を生かす方法を身に付けている。	○集団の中で、個々人が共通して直面する現在及び将来に関わる課題を発見するとともに、必要な情報を収集・整理して考察し、解決に向けて意思決定している。	○日常の生活や自己の在り方を自主的に改善するとともに、将来を思い描き、自分らしい生き方を主体的に選択しようとしている。

5 単元の関連指導と評価の計画（全時間）

時間	生徒の活動	学習を支える教師の働きかけ	【評価項目】（評価方法） ESD（能力・態度）
1	なぜ、人は働くのだろう ○どんな理由で人が働くのかを理解しながら、自分の将来を描いてみる ○わたしはこのような理由で働きます（各班で発表）	○清掃などの当番活動や、係活動等における自己の役割を自覚して協働することの意義を理解させる。 ○社会の一員として役割を果たすために必要となることについて主体的に考えさせる。	【思判表】ノートのまとめ○ (3) ア【ESD：批】 SDGs 8・11
2	SDGs特設授業（100人の村） ○世界が100人の村だったらどのような状況が、同じ地球に住む私たちと比較する。今現在の世界の状況を知ること、感じたことを記入し、級友とシェアする。 ○アクションプランをイメージする	○よりよく生きるための課題を見だし、解決のために主体的に活動できるようにする。 ○「SDGs」の指標から日常の生活や自己の在り方を多面的に考えさせる。「わたしにできること」に繋げる。	【思判表】 振り返りシート○ (3) アイ【ESD：多・つ】 SDGs 1・2・4
3 本時	「社会の中に生きる一員として」 ○「わたしからはじまるSDGs」でわたしにできることの視点で17の指標の1つを選択し、テーマをもってアクションプランを仕上げた上で各グループの発表、代表発表をする。	○自己実現との関係について考え、自分なりの勤労観・職業観を醸成していく。 ○社会の形成者として、自らを生かした責任ある行動とは何だろうか。社会生活に貢献しようとする態度を考えさせる。	【思判表】 振り返りシート○ (3) イ【ESD：つ】 それぞれのSDGs

6 本時の展開

(1) 本時のねらい

○SDGs17の指標をもとに、日常の生活や自己の在り方を自主的に改善するとともに、現在及び将来に関わる課題を解決に向けて意思決定する態度を育成する。

(2) 授業仮説

○自己決定する場面からその解決に向けたアクションプランを考えることで、自己の在り方、他者の考えを共有することにより、自分にできることを考察し深めることで、個人としてまた集団として社会参画し貢献する態度が育成できるだろう。

(3) ESDの視点に立った学習指導で重視する能力・態度

ESDの視点に立った学習指導で重視する能力・態度	関連	内容
① 批判的に考える力（批） 合理的、客観的な情報や公平な判断に基づいて本質を見抜き、ものごとを思慮深く、建設的、協調的、代替的に思考・判断する力		③ SDGsの指標から、日常の生活や自己の在り方を多面的・総合的に考え、自分にふさわしい生き方や「わたしにできること」につなげる。
② 未来像を予測して計画を立てる力（未） 未来像を予想して計画を立てる力過去や現在に基づき、あるべき未来像（ビジョン）を予想・予測・期待し、それを他者と共有しながら、ものごとを計画する力		
③ 多面的・総合的に考える力（多） 人・もの・こと・社会・自然などのつながり・かかわり・ひろがり（システム）を理解しそれらを多面的、総合的に考える力	○	④ コミュニケーションを行う力 SDGsの指標のテーマについて考え、自分や他者の考えや気持ちを共有し、尊重しながら話し合う力を養う。
④ コミュニケーションを行う力（コ） 自分の気持ちや考えを伝えるとともに、他者の気持ちや考えを尊重し、積極的にコミュニケーションを行う力	○	
⑤ 他者と協力する態度（他） 他者の立場に立ち、他者の考えや行動に共感するとともに、他者と協力・協同してものごとを進めようとする態度		⑥ つながりを尊重する態度 自己実現との関係について考え、自分なりの勤労観・職業観を醸成していく「きっかり」

⑥ つなかりを尊重する態度（つ） 人・もの・こと・社会・自然などと自分とのつながり・かかわりに関心をもち、それらを尊重し大切にしようとする態度	◎	にし、こうした過程を通して、社会の形成者として、自らを生かした責任ある行動を取り、社会生活における課題の改善に向けて貢献しようとする態度を養う。
⑦ 進んで参加する態度（進） 集団や社会における自分の発言や行動に責任をもち、自分の役割を踏まえた上で、ものごとに自主的・主体的に参加しようとする態度		

(4) 展開 (第3時)

	学習活動	教師の働きかけ (□) 予想される児童生徒の反応 (◆)	目指す生徒の姿と 評価方法
導入 (7分)	1 実践事例を紹介 ○先日の授業で配布したアクションプランを確認します。	◆3年生の先輩はずっと続けていたんだ。見たことがある。このCM見たことある。 □「わたしからはじまるSDGs」について決定していこう ◆個人で決めたSDGs17の指標を黒板に掲示します。	【主】 (観察)
展開 (35分)	2 めあて 「わたしからはじまるSDGs」アクションプランを完成させ自己決定し、自分の考えを深めよう。 3 生徒のプレゼン作成 (1) 各自のアクションプランを各グループで発表 「発表が終了したら互いの良かったところを伝えよう」 (2) タブレットに入力し、アクションプランを完成させよう 4 話し合い活動 「アクションプラン」の完成 ○各グループ代表発表	□「わたしからはじまるSDGs」アクションプランを各グループで発表する。 (1) 各自1分間スピーチ □なぜそれを選んだの？その動機は何だろう。 □それぞれの発表を尊重し、友達の考え、気持ちを共有し理解させる。 ◆なるほど！これは良い視点だ。へえ～良い考えだね。(グループで共有し互いに尊重する) □話合いに積極的に参加できるように声かけフォローする(リーダーの手引きを利用し、活性化させたい) □発表後→タブレット(ジャムボード)に決定したアクションプランを作成する。 (2) 代表して発表 ◆その内容はとてもいいね。具体的にいいんじゃないかな。その内容だったら続けられそう！持続可能だね。 【発表終了後】(自分の考えを深めよう) □数名の発表を聞いて、気づきや良さを記入しよう。 ◆こんな取り組みがあるんだ。自分も協力してみようかな。 □グループで共有する。 ◆自分で決めたことなので、実践していこう。 ◆こんなアイデアや考え方があるんだ。面白い。 [努力を要する児童生徒への働きかけ] □タブレットの活用方法やまとめ方を周りで声かけサポートする。	【知識技能】 (アクションプランシート) ・再記入してそれぞれの課題を理解させる 【コミュニケーション力】 相互の意見を尊重しながら話し合う力を養う 話し合い活動 司会(リーダー)手引き 【主体的】(観察) 【思考判断表現】 (ウインバード) (色画用紙記入)
終末 (8分)	5 まとめ ・完成したアクションプランを実践しよう。具体的な行動を振り返りにも記入する。 6 振り返り 自分ができること、自分の可能性を知ることができた。持続可能にしたい。自己決定することでSDGsなどの取り組みを積極的に行っていきたいと思った。		【思考判断表現】 (振り返りシート)

(5) 板書計画

「わたしからはじまるSDGS」

めあて 「アクションプランを完成させ自己決定し自分の考えを深めよう」

【SDGs】

SDGSの指標 17

1 2 3 4 5 6 7 8 9

10 11 12 13 14 15 16 17

※個人の考えている指標に、ネームプレート貼り付ける

まとめ・振り返りシートに記録

○他者の発表内容から自己理解と考えを深めよう